

2011
11月

秋号
あきごう



るーぷる



★ **ピープルファースト**



★ **福岡大会 感想文**

★ **ピープルファースト直方**

副代表 **山本新太郎**

今回初めて福岡で大会を開きました！

今回の大会の時に私は自分が、小学校の時にいじめられた事を舞台の上で発表しました。

緊張しましたが発表した後、参加された方たちから良かったですよと言われて嬉しかったです。

過去に嫌な思いをした事を皆さんに聞いていただいて、私の気持ちを分かってくれることで、自分に自信ができました。

今回仲間と力を合わせて、大会を開けた事を嬉しく思っています。福岡で大会を開いてピープルの仲間が増えたと感じています。それは、夜の交流会の時沢山の県の仲間たちと話すことが出来たから

です。

福岡大会が出来たのは私ひとりではなく仲間がいるから大会が出来たと私は、思っています。今後、仲間を大切に力を合わせて頑張っていきたいと思っています。平成23年10月6日

博多駅バリアフリー

調査に参加して

♡ 安部佳代子

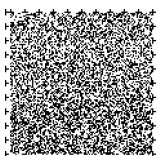
平成23年10月8日(土)、少し暑いぐらいのこの日、私は所属する団体「福岡県脊髄損傷者連合会」の「博多駅バリアフリー調査」に参加しました。

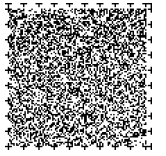
自宅から近いJR小竹駅から集合場所のJR博多駅まで電車を出発、昼前くらいに着き、いざ集合場所へ。と…その前に腹ごしらえをしてから改めて集合場所のJR博多駅の筑紫口のほうへ。

時間になって説明等を通り聞き、参加者20数名(会員10数名+ボランティア等)を博多駅ビル班

(地下グループと屋上グループ)、博多駅構内班(JR西日本側新幹線グループとJR九州側在来線グループ)、周辺道路班(正ルートグループと逆ルートグループ)の計6班に分かれて、それぞれのバリアフリー調査へ出発して行きました。

私は周辺道路班(正ルートグループ)へ参加し、博多駅筑紫口から出発して博多駅博多口へ戻ってくる周辺道路へ調査に向かいました。調査内容は歩道の幅・段差・傾斜等を図ったり、障害物等の有無、点字案内が利用者にとってわかりやすくなっているか等を何カ所もあるチェックポイントをチェック表で確認して行きました。1時間半ほど調査して集合場所へと戻り、各班から代表1名ずつこの調査にこ





協力頂いた企業から
代表の方々の調査して感

じたことを発表し、終わりの挨拶
を経て、16時頃解散となりました。

調査して…歩道と横断歩道の境
目の段差が単独では一部通りに
くいかなという部分もあったり、
歩道に隣接した駐輪スペースがあ
りませんがそのスペースからはみ出
して、歩行の妨げになっていると

ころも見られました。また、街中を
自転車で行き来する光景を多々目に
しましたが、特にガード下付近で
は自転車ですピードを落とさずに
真横を行き来するのにも何度も遭遇
し、怖い思いをしました。

全体的には中心地なので道路等
もほぼ整備されて、動き易くなっ
てはいるかなと感じました。

こういった調査を当事者である私
たちが行うことによって、例えば
エレベーター設置にしても車イス
の私達だけでなく、階段の上り下

りが大変なご年配の方や赤ちゃん
をバギーカーに乗せて行動してい
る方や大きなトランク等の荷物を
持つて動いている方等にも利便性
があるということも「バリアフリ
ー」という意味では大きく繋がっ
ていくのではないかなと、そうや
って少しずつ垣根が外れていけば
いいなと感じています。

るーぶる当事者

相談員の紹介

私たちが当事者相談員が、当事者
の立場から、お話しを伺います。
共に悩み、共に考え、共に解決の
道を見つけましょう。

車いす常用相談員

(宮若市在住) / 安部佳代子

内部障害(透析)相談員

(直方市在住) / 内田百合子

知的障害相談員

(直方市在住) / 船本静剛

精神障害相談員

(直方市在住) / 柿山晃平

(直方市在住) / 阿部英子

10月から相談員が1名増えまし

た。直方市須崎町にある、なおり
の会共同作業所(軽食喫茶廻音)
で働いておられる阿部英子さんで
す。以前はるーぶるのピア・カウ
ンセラーとして活躍されていまし

また、阿部さんは沢山の方々が
らのご相談を受けたいとの思いで、
毎月第1土曜日の13時からるー
ぶる相談室に来ておられます。

るーぶる当事者相談の利用を
希望される方は、ご連絡ください。
各相談員との日程調整等をいた
します。

今回は知的障害部門の船本静剛
さんをご紹介します。

るーぶるの相談員を初めて2年
目になりました。少しずつ相談を
受けるようになりました。

私自身今年の3月まで仕事を
していました。いままでいろんな
ことを経験しました。みなさんと
一緒にいろんなことを学びたいと
思っています。

普段は鞍手ゆたかの里に通所し
ています。また仕事をしようと思
っていてハローワークで捜してい
ます。またビープルファースト直
方の代表をやっています。

ビープルファーストの全国大会
に参加したりして全国の仲間と知
り合いになってメール交換をした
り、年賀状が来たりします。これ
からも友達を作りたいです。

学習会を開いて虐待やいじめに
ついてたくさん話し合いをしまし
た。みんな学校時代や仕事場での
いじめがたくさんあっていること
を知りました。なくさないといけ
ないと思います。

るーぶるの相談員としてこれか
らみなさんの悩みを解決できれ
ばいいです。私と一緒に解決して

いきましよう。よろしくお願います。

お知らせのご案内

移動するーぶる

(9時30分から16時)

11月26日(土)

宮若市社会福祉センター

(2階・会議室)

12月17日(土)

鞍手町総合福祉センター

くらのの郷

1月28日(土)

小竹町総合福祉センター

(2階・研修室)

障害に関する様々な相談やおしゃべりの場も設けてあります。

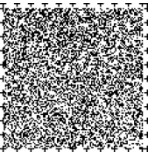
お気軽にお越しください。

脊髄損傷者のための総合相談会

対象：筑豊地区在住の脊髄損傷者及び家族

内容：健康管理・福祉

制度の活用・身近生活



(自立生活)・家族のこと・社会参加や就労など、当事者が相談にあたります。事前に事務局までお申し込み下さい。

(092) 592 4528

日時：平成23年11月20日(日)

10時30分から15時

会場：イオンモール直方

1階レストラン側特設会場

実施団体：社団法人/全国脊髄損傷者連合会福岡県支部福岡県脊髄損傷者連合会

映画「こんちくしろう」

(障害者自立生活運動の先駆者たち)上映

直方市ボランティア

連絡協議会

障がい者問題を考える

直方市連絡会議

直方市社会福祉協議会

今から約40年前、制度も何も存在せず、重度障害者が、街に存在することすらありえな

かった時代に、地域での自立生活を實現した先駆者がいる。私はその扉を開いた三人の先駆者のもとを訪ね、証言をカメラにおさめた。

製作総指揮/福永年久

日時：12月10日(土)

13時30分から15時

場所：直方市総合福祉センター

(直方市大字山部616の145)

お問い合わせ

直方市社会福祉協議会

(0949-233-2551)

10月1日より同行援護制度が始まりました。

移動の困難な視覚障害者の外出時に同行し、

視覚的情報の支援(代筆・代読を含む)

必要な移動の援護

排泄・食事等の介護その他外出する際に必要となる援助等を行います。

活字文書読み上げ装置が

使いやすいになりました

音声コードを読み取るには、スピーチオアやテルミーという装置が必要でした。

新たに開発された活字文書読み上げ装置は、専用の補助アダプタの上に携帯電話機(ドコモベーシック3)を載せて読み取ることが出来ます。

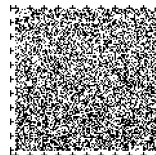
詳細はるーぶるまで

編集委員募集

広報誌るーぶるは当事者が編集作業を行い年4回発行しています。

毎月1回(第3水曜日：14時から16時)の編集会議に参加出来る方。(交通費程度2000円支給致します)

文章や詩、イラスト等を書くことが好きな方、取材や記事集め等積極的に人と関わるのが好きな方、パソコン打ち込みや発送



準備などの黙々とした作業が好きな方、そして何にでも興味のある方、大歓迎です。

原稿募集

今回は来年2月発刊です。原稿の締め切りは12月末。紙面の都合で1,200字以内。

あなたの思いを文章や詩、イラスト、写真などに込めて。また、友達募集やサークル活動案内などなど…。何でも頑張って載せちゃいますよ(デキルカぎり)

★ 編集後記 ★

編集会議の折、ちよつとした雑談の中で、人間性、生き方などの話が出て共感しました。

人それぞれ生き方はあるけれど、私は、オオバコのあの強さ、逞しさにひかれます。

オオバコは踏まれることで、葉も茎も強くなります。そして、人や動物の足の裏に付着した種子は、



後藤美津枝

遠くへ運ばれ、そこで又生きるのです。花自体は、目立たない小さなものです。

最近、自分の周りにいる人たちを見て、皆さんそれぞれに「きれいな花を咲かせているなあ」と思います。

どんな人にも咲かせるべき花が、あるのではないでしょうか。どんな、厳しい環境にあってもそこに自分の生きがいを見つければ、花を咲かせる、一番ふさわしい場所になると思います。

目立たなくてもいい、美しく咲き誇らなくてもいい、野に咲く花のように、強く生きていけたらいい、そう思うのです。

るーぷる 業務案内

相談窓口

火～土 8:30～17:00 来所・電話・FAX・Eメールにて、生活全般に関する相談を受けています。

交流広場7番地

火～土 8:30～17:00 どなたでも気軽に立ち寄れるフリースペースです。

ご自由におくつろぎください。お茶、電子レンジ、パソコン(インターネット)などが無料で利用できます。

サービス利用計画作成

福祉サービス(障害者自立支援法に定められたもの)を利用中または利用予定の方の相談を受け、利用計画を作成するなどして福祉サービス利用を継続的に支援します。

広報誌るーぷる

年4回発行予定。ご自宅への郵送も受け付けます。視覚障害者向けに点字版・カセットテープ版・SPコード版があります。読者投稿は随時受付中です。

[るーぷる 20] 発行・編集/障害者相談支援センターるーぷる [広報誌るーぷる編集事務局]

〒822-0026 直方市津田町7-20 (直方市健康福祉課別館1F)

TEL: 0949-25-7010 FAX: 0949-22-6088

E-mail: s-life-support-c@tempo.ocn.ne.jp

HP: <http://www.normanet.ne.jp/tyokuan/>

